入院診療計画書　　病名（　　）

患者氏名　　様　　治療（腹腔鏡下虫垂切除術　）　麻酔方法（　　）

経過	（術前）	（術後）	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目
日時	（　/　）	（　/　）	（　/　）	（　/　）	（　/　）
達成目標	手術に関して理解できる 不安なく治療を受けることができる	合併症の出現がない 痛みがコントロールできる	合併症の出現がない 痛みがコントロールできる 消化管の症状・所見がない		退院後の生活に対する不安がない
治療 処置 薬剤	今飲んでいる薬を看護師に渡してください。 ※特に高血圧・糖尿病・血液をサラサラにするお薬を服用されている方はお知らせください。 術衣に着替えます。 必要があれば、弾性ストッキングを履きます。	点滴を行います → 痛みがある時は、痛み止めの使用ができます	主治医の診察があります。 傷口の観察をします。	→	主治医の許可があれば、退院が可能になります。
検査	手術に必要な検査を行います。		採血をします。		
安静度	安静の制限はありません。 状態に合わせ手術室へ移動します。	ベッド上安静です。	歩行できます。 最初の歩行は看護師が付き添います。		
食事	手術までは絶食になります。 水分は主治医確認後となります。 	食事は食べれません。 水分は主治医の許可があれば摂取できます。	採血の結果をみて昼から食事が始まります		
清潔	おへそをきれいにする処置を行います。		清拭を行います。	シャワーができます。	
排泄	トイレまで歩行可能です。 手術の前までに排尿・排便を済ませておいてください。	尿器を使用します。 尿の管が入る場合もあります。	トイレまで歩行可能です。		
教育 指導 説明	看護師からの事前説明があります。 術前オリエンテーションを行います。 手術・麻酔の同意書にサインをして、 看護師に渡してください。	痛みや吐き気・気分不良があったらすぐにナースコールを押してください。		腸の動きが良くなるように積極的に動いてください。	退院後に感染を起こす可能性がありますので 傷口は清潔に保ってください。傷口の発赤や発熱、腹痛、食欲低下などの症状がありましたら、次回受診を待たずに受診してください。
服薬指導	持参されたお薬の作用、副作用について薬剤師が説明を行います　新しく薬が出た場合は、内服方法や作用・副作用について説明します。				
栄養指導	あり　・　なし				
観察	腹部症状・不安の有無の観察を行います。	傷からの出血や性状を観察します。 体温や血圧等を測定します。 痛みや痺れなどを観察していきます。	食事量を観察します。	→	→
在宅復帰 支援計画	（　）病状の安定を図り、安心して生活する為の支援を行います。 （　）日常生活動作が維持できるような環境設定の提案や介助方法等を家族・療養にかかわるスタッフへ指導します。 （　）				

主治医：　　令和　　年　　月　　日

師　長：

担当看護師：　　本人または家族の承諾サイン：

在宅復帰支援担当者：4階北(黒田)　5階北(粟津)　3階南(中村)　4階南(黒田)　5階南(中村)

＊注：入院期間は、現時点で予測されるものである・病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくに従って変わりうるものである

熊本セントラル病院
書式番号7006-2020